

週刊大貫のり夫

市政ファイル No.376



日本共産党横浜市会議員大貫のり夫議会報告

発行日：2013年2月20日(水)

事務所：〒227-0061 横浜市青葉区桜台29-6

大型事業から生活密着型公共事業に転換を

横浜市議会第1回定例会で15日、日本共産党の古谷やすひこ議員が、補正予算案等に関して市長に質問しました。

補正予算額は367億円で、そのうち、国の緊急経済対策を踏まえて、

高速道路や国際コンテナ戦略港湾関連の整備費が171億円を占めています。

古谷議員は、今回の国の大型補正予算は、安倍自公政権が進める国土強靱化の方針として、不急不要の大

型公共事業を突出させており、その施策をもっとも忠実に進めているのが横浜市であると指摘。これらの大型公共事業で市内経済と雇用創出にどれほどの効果があるのかと質問しました。

(2面に続く)



南本牧ふ頭で、大水深バースMC-3、MC-4の建設計画の説明を受ける日本共産党市議団＝2月12日、横浜市中区南本牧ふ頭

Twitter facebook ご覧ください

新規インフラ整備でさらに市財政圧迫

市内の既存の道路や橋、トンネルなどの公共構造物の維持管理補修には莫大な予算がかかり、道路局の試算では、対策が必要な橋だけでも今後50年間で約3700億円の維持管理費が必要としています。古谷議員は、「新たなインフラを造れば将来その維持や管理が新たに必要になり、さらに横浜市の負担を産み、市財政を圧迫することは必至」だと述べました。

その上で、いま日本が震災復興や地震対策、長期デフレ不況などの様々な重大な問題を抱えている中、「時代に適応した新しい公共事業のあり方が求められている」として、「大型事業から小規模・生活密着型公共事業に抜本的に転換し、市民の命と暮らしをしっかりと守り、地域経済の再生に役立つ公共事業を進めなければならない」と主張しました。

林市長：
港や
横浜
環状
道路
は横



浜に不可欠

林文子市長は、国の補助事業に、公園整備事業や学校特別営繕費など市単独事業を追加することで、さらなる事業量の確保を図り、市内中小企業への発注量の増加など、市内経済の活性化につなげていくと答弁。また、横浜環状道路や港湾施設を本市の骨格的な都市施設ととらえ、市内経済の活性化や災害時の広域的な救急救命活動などに不可欠と答えました。



国の緊急

対策で保育士の確保を

古谷議員は、国の緊急経済対策の中に医療・子育て分野のメニューがあるが、なぜ本市の補正予算の中にはそのようなメニューがないのか質問。前倒ししてでも保育士の人材確保などを行うべきではないかと質しました。

林文子市長は、保育士の育成や人材確保は保育の質の向上において重要として、今後の国からの通知を踏まえて検討すると答えました。

市の責任で粉塵被害の調査と対策を

旭区の善部町で起きている建築破砕材会社による粉じん被害の対処について14日、河治民夫前市会議員と住民の皆さんが環境創造局の大気・音環境課と交渉を行い、私も同席しました。

この建築破砕材会社による粉じん被害は10年ほど前から起きています。旭区にあるこの会社は、ガレキ等の産業廃棄物を破砕処理し、路盤材等の建設材を作っています。廃材置き場周辺の住民は、窓も開けられない、洗濯物を外に干すこともできないなどの苦情を河治前市議のところに伝えました。

周辺住民は「建設破砕材の粉じん被害を考える会」を作り、河治議員と一緒に旭区役所を通して改



周辺住民のみなさんと一緒に環境総合局と交渉する河治前市議(左)と私・大貫(右)＝2月14日、横浜市役所日本共産党控え室

善を求めてきました。ところが、市は排出源が特定できないなどとして、業者への行政指導を怠ってきました。そこで、環境創造局担当の私・大貫に、交渉の場と同席・助言を求めてきました。

14日の交渉では当初、市は「事業所も原因ではあるがそれが大部分であるとはいえない」と、依然と主張していましたが、「粉じんで市民が困っているのだから、原因を調べて対処することは大気・音環境課の仕事」と私が提言。市の環境科学研究所に粉じんの分析を依頼するなど、原因を究明することになりました。



問題の建築破砕材会社。廃材が積み、粉じんの原因となっています。＝2012年5月、横浜市旭区

福祉パス有料化しないで！

障害者団体の皆さんが関内駅前非要請行動

障害児者の生活と権利を守る神奈川県連絡協議会と横浜市社会保障推進協議会は14日、市役所内外で、福祉パスの有料化を中止するよう求める要請行動を行いました。市内10団体35人が参加しました。

福祉パスは、障害者が市内のバスや電車を無料で利用できる乗車券で、現在無料で障害者に交付されています。ところが、市は福祉パスを有料化する議案を議会に提出していました。

14日の要請行動では、まずJR関内駅南口の市役所前で、チラシを配りながら、福祉パスの利用者負担導入に反対する署名を集めました。また、障害者自らがマイクを握り、福



障害者団体のみなさんと福祉パス有料化の中止を訴えました。右から5人目が私・大貫
＝2月14日、JR関内駅前の横浜市役所前

祉パスを有料化しないよう、訴えました。日本共産党横浜市議団の5人も参加し、署名への協力を呼びかけました。

しかし、福祉パスの有料化案は、19日の健康福祉・病院経営委員会で、自民・民主・公明の賛成多数で可決。26日の本会議で可決・成立の



ミジンコの独り言 18日は「雨水」、雪から雨に変わるとされるが、19日の横浜では雨が雪に変わった。気象庁の1か月予報では、3月中頃までは平年並で晴れの日が多いという。横浜ではインフルエンザ警報が先月末に発令。空気の乾燥に気を付けよう！そろそろ花粉にも注意が必要だ。(M)